

若浜の子ども



令和4年3月3日 第9号

子どもの健やかな成長を願う

～ 雛 (ひな) 人形に込められた思い ～



若浜小学校の雛人形
低学年図書室に展示中

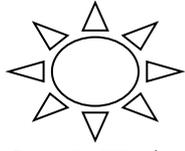
この時期になると、あちらこちらで雛人形にかかわるイベントが行われています。酒田市でも、市内10か所で3月1日から4月3日まで、「酒田雛街道」が開催されています。

雛人形の起源について調べてみると、日本人の子どもに対する思いが伝わってきました。

ウィキペディア (Wikipedia) によると、平安時代には川へ紙で作った人形を流す「流し雛」があり、「上巳の節句 (穢れ払い)」として雛人形は「災厄よけ」の「守り雛」としてまつられるようになったそうです。当時の乳幼児死亡率は現代とは比較にならないほど高く、赤ん坊のうちに亡くなることは珍しくはなかったため、親としては必死の思いで子の成長を見守り、枕元には形代を置き、厄除けとしました。そして、1年の災いを、春のひな流しではらう。これが、ひな祭りの起源であるとのこと。

現在、学齢期の子どもへの新型コロナウイルスへの対応のあり方については、様々な意見があるようですが、健やかな成長を願うという思いでは、雛人形の起源と同じです。子どもの健康を守り、さらに成長のための様々な学習や経験を積ませ、社会人として通用する人に育ててほしいということです。

ところで、3月は、雛人形の時期であるとともに、多くの中三の子どもたちにとっては、県立高校の入試の月です。若浜小学校を巣立っていった「きらきら学年 (中三)」の子どもたちが、持っている力を存分に発揮して、自分の志望校に合格することを願わずにはられません。



若浜小学校の底力

随分時間がたった話題で恐縮ですが、2月7日（月）から8日（火）の新型コロナ感染拡大防止のための2回目の臨時休業についてのことです。

臨時休業が決まった2月6日（日）の午前11時から2時間、私は悩みました。タブレットは学校に置いたままなので、子ども達に学習の指示を出すことすらままならない。タブレットをご家庭から取りに来ていただければいいのですが、駐車場は大雪で駐車スペースは、無い。1台の除雪機では駐車スペースを確保できるのはいつのことやら…。何か打開策はないものか…。

ところが、臨時休業のことを学保連（学童保育の事務局）の梅津先生に伝えたところ、梅津先生の旦那さんが自分の家の除雪機で除雪してくれるということになり、学校の分と2台で取り組むことになり、駐車スペースの確保に目途が立ちました。

しかし、そのとき学校にいた職員は、私と教頭、休日出勤していた2名の職員の合計4名。教職員の時間外勤務については、法令上の縛りがあり簡単に勤務命令を出すことができません。ですが、臨時休業の措置を聞いた職員から「招集をかけてください。」とのLINEが入ったので、教職員を出勤させる決断を下し、タブレットを配付する体制をつくることができました。

ご家庭にタブレットをとりに来ていただくことをお願いするメールを出したのは午後4時半。「午後6時までに取りに来てほしい。」という難しいお願いにもかかわらず、どなたからもお叱りの言葉をいただくことなく、大変スムーズにお渡しすることができました。

ピンチをチームワークで乗り切る。まさに、共育の若浜、チーム若浜の面目躍如たる1日でした。保護者、学童保育所、教職員、若浜小学校を支えてくださっているすべての方々に手を合わせて感謝いたします。

頭のたいそう

4年生以上の子どものためのタブレットに出した問題です。方程式を使わないで解いてみてください。意外とむずかしいですよ。

ボールペンと消しゴムのねだんを合わせて110円で、ボールペンは消しゴムよりも100円高いとき、消しゴムのねだんはいくらになるでしょうか。次の3つの中から選んで下さい。

- ① 100円 ② 10円 ③ 5円

ジレンマを考える

一昨年から、卒業を前にした6年生に道德の授業をさせてもらっています。テーマは二律背反（ジレンマ）です。小学校の道德では、登場人物の気持ちに沿って考え、よりよい行動を選択する考え方を学ぶという授業がスタンダードです。チームの優勝とクラスで決めた選手交代の約束、親友への思いの板挟み。6年生の子どもたちは一生懸命考えました。

<あらすじ>

6学年男子によるサッカーのトーナメント戦。3組ではボールがフィールドの外に3回出るたびに、一人ずつ代わることに決めていた。

決勝戦、サッカーの得意な浩二のシュートが決まり同点になった。その後ボールがフィールドの外に出て交代を待っているのは健太。健太はサッカーはあまり得意ではなかったがここまで一生懸命練習してきた浩二の親友。

「残り3分」と審判の声が。一番大事な場面だが、チームで決めたことなので、浩二はフィールドの外に出なければならない。そのとき、キーパーの次郎が走ってきて「交代したらだめだ。いくら健太が上手になったからと言ってもキャプテンが抜けたら負けてしまう…」との言葉。

この難しい場面で、キャプテンの浩二が健太にかけける言葉を子どもたちに書いてもらいました。

<交代しないで続けて出るとしたら>

- ほんとにゴメン。でもこの最後の3分は自分に出させてほしい。優勝するためなんだ。
- 最後は俺が出てもいい？健太の分まで一生けん命がんばるから。
- 健太には悪いけど、みんなの目標や健太の目標をかなえるには、これが最善だから、約束は破ることになるけど続けて出てもいいかな？
- 健太、おれキャプテンとして最後までがんばりたいんだ。だから応援してくれると、うれしい。健太の分まで本気でがんばって、優勝するからな。

<交代するとしたら>

- 健太、結果は気にしないで今まで通り思いっきりがんばれ。
- 絶対優勝しよう。健太のこと信じてるからね。
- あと3分。健太ならできるよ。あとは頼んだよ。応援してるね。
- 失敗してもだいじょうぶ。勝ち負け関係なくがんばろう。
- 健太がこれまでどれだけがんばってきたかはおれが一番わかっている。だからもちろん勝った方が嬉しいけど、健太が一生懸命がんばってくればおれもうれしい。おれは健太を信じてるよ。
- みんなからは、キャプテンいなくなったらだめって言われたけど、ルールだから交代しよう。おれの代わりに、今までの練習の成果を出してきて。優勝できなくても健太のがんばりはみんなわかっているよ。



若っ子のがんばり



酒田市書写作品展 奨励賞

6年 鈴木 菜月 佐藤 百華 5年 池田 柚稀 芝田 朱里
4年 田村 彩音 鈴木亜花璃 3年 根本 大輝 畑中 明紗
2年 本多 かい 佐藤 みゆ 1年 さとう こはる すずき みずき

文集 酒田の子ども 奨励賞

6年 佐藤 千波菜 5年 今田 希愛 4年 中村 皇
3年 瀬尾 東輝 2年 池田 りお 1年 おおた しずく

酒田市明るい選挙啓発ポスターコンクール

- 奨励賞 5年 畑中 絢莉
- 入選 6年 佐野 結惟 進藤 奈緒 伊藤 梓 近野 瑞希

第62回酒田市教育委員会 科学賞

- 奨励賞 5年 御船 有紀人
「糸電話のひみつ4年目 ～話して聞ける電話みたいな百m糸電話をつくりたい～」
- 努力賞 3年 杉原 晃介 「プランクトンの世界をたんけんしよう」
1年 御船 知 「にじいろのはなたばをつくりたい」

第37回全国学生書き初め展覧会 毛筆の部

- 優秀特選 6年 佐藤 麻央
- 特選 6年 井澤 歩花 5年 高橋 ひより
- 金賞 5年 三浦 絢葉 4年 佐藤 倅羽
- 銀賞 4年 佐藤 夏実 3年 志田 芽咲 ○ 銅賞 3年 齊藤 優奈



第37回全国学生書き初め展覧会 硬筆の部

- 金賞 2年 瀬尾 さえ 1年 さとう なおき
- 銀賞 1年 きむら あやの ○ 銅賞 2年 本間 ゆうか

白崎資金スポーツ優秀選手賞

6年 佐藤 千波菜（水泳） 5年 石橋 由菜（水泳）